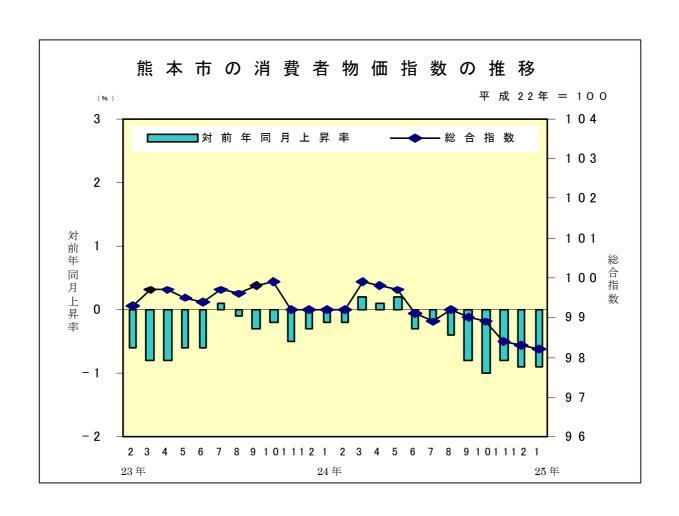
平成22年基準

熊本市の 消費者物価指数

平成25年1月分



熊本県統計調査課

1月の熊本市の消費者物価指数の動向

総合指数98.2前月比-0.1%前年同月比-0.9%

総合指数は、平成22年を100として98.2となり、前月比は-0.1%となった。

前年同月比でみると、平成24年10月は-1.0%、11月は-0.8%、12月は-0.9%と推移した後、平成25年1月は-0.9%となった。

なお、生鮮食品を除く総合指数は98.0となり、前月比は-0.5%となった。

前年同月比は、平成24年10月は-0.6%、11月は-0.7%、12月は-0.7%と推移した後、 平成25年1月は-0.7%となった。

また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は97.2となり、前月比は-0.6%となった。前年同月比は、平成24年10月は-0.6%、11月は-0.7%、12月は-0.7%と推移した後、平成25年1月は-0.8%となった。

○上昇及び下落した主な項目(寄与度順)

自動車等関係費 (+) 0.4%

△上昇した主な項目

(1)前月との比較

野菜·海藻	(+) 8.2%	洋服 (一)10.9%
果物	(+)18.7%	教養娯楽用耐久財(一) 6.8%
家事用消耗品	(+) 4.5%	教養娯楽サービス (-) 1.3%
理美容用品	(+) 2.2%	

▽下落した主な項目

(2)前年同月との比較

△上昇した主な項目		▽下落した主な項目	1
自動車等関係費	(+) 2.9%	家庭用耐久財	(-)16.6%
電気代	(+) 1.1%	穀類	(-) 7. 2%
他の光熱	(+) 8.6%	肉類	(-) 6.1%
シャツ・セーター類	(+) 3.4%		
飲料	(+) 2.6%		

1 前月からの動き

総合指数の前月比は0.1%下落となった。

10大費目でみると、家事用消耗品などの「家具・家事用品」が1.6%上昇となった。一方、洋服な どの「被服及び履物」が6.8%下落となった。

なお、生鮮食品を除く総合指数の前月比は0.5%下落となった。

また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の前月比は0.6%下落となった。

○費目ごとの主な動き

(1)食料は98.0となり、前月に比べ1.2%の上昇。

生鮮魚介

1.9%の上昇

生鮮野菜

13.1%の上昇

生鮮果物

19.5%の上昇

(2) 家具・家事用品は85.1となり、前月に比べ1.6%の上昇。

家事用消耗品

4.5%の上昇

寝具類

1.8%の下落

家庭用耐久財

1.4%の上昇

(3)被服及び履物は94.9となり、前月に比べ6.8%の下落。

洋服

10.9%の下落

他の被服類

9.6%の下落

シャツ・セーター類 7.1%の下落

(4)教養娯楽は90.7となり、前月に比べ1.5%の下落。

教養娯楽用耐久財

6.8%の下落

教養娯楽サービス

1.3%の下落

教養娯楽用品

0.1%の上昇

(5) 諸雑費は103.1となり、前月に比べ0.5%の上昇。

理美容用品

2.2%の上昇

表1 10大費目別対前月上昇率及び寄与度

		総合	食料	住居	光熱· 水道	家具・ 家事用品	被服及び 履物	保健医療	交通・ 通信	教育	教養娯楽	謋費		食料(酒類を 除く)及びエ ネルギーを 除く総合
:	指数	98.2	98.0	99.5	104.7	85.1	94.9	98.8	101.3	98.4	90.7	103.1	98.0	97.2
Ŀ	昇率 (%)	▲ 0.1	1.2	0.0	▲ 0.2	1.6	▲ 6.8	0.2	0.1	0.0	▲ 1.5	0.5	▲ 0.5	▲ 0.6
	寄与度	▲ 0.1	0.29	0.00	▲ 0.02	0.05	▲ 0.30	0.01	0.02	0.00	▲ 0.15	0.03	▲ 0.44	▲ 0.39

^{*}寄与度は、各品目または各項目の総合指数の上昇率に対する影響度を見るもの

2 前年同月との比較

総合指数の前年同月比は0.9%下落となった。

10大費目でみると、他の被服類などの上昇により「被服及び履物」が1.3%上昇となった。一方、家庭用耐久財などの下落により「家具・家事用品」が5.8%下落となった。

なお、生鮮食品を除く総合指数の前年同月比は0.7%下落となった。

また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の前年同月比は0.8%下落となった。

○費目ごとの主な動き

(1)食料は98.0となり、前年同月に比べ2.7%の下落。

生鮮魚介

3.5%の下落

生鮮野菜

5.9%の下落

生鮮果物

9.5%の下落

(2) 光熱・水道は104.7となり、前年同月に比べ0.9%の上昇。

他の光熱

8.6%の上昇

電気代

1.1%の上昇

ガス代

0.4%の上昇

(3)家具・家事用品は85.1となり、前年同月に比べ5.8%の下落。

家庭用耐久財

16.6%の下落

寝具類

3.2%の上昇

家事雑貨

2.0%の上昇

(4)被服及び履物は94.9となり、前年同月に比べ1.3%の上昇。

他の被服類

4.3%の上昇

シャツ・セーター類

3.4%の上昇

履物類

3.2%の上昇

(5) 教養娯楽は90. 7となり、前年同月に比べ2. 3%の下落。

教養娯楽用耐久財

6.6%の下落

教養娯楽用品

3.0%の下落

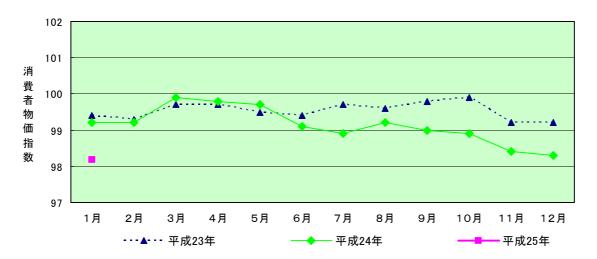
教養娯楽サービス

1.8%の下落

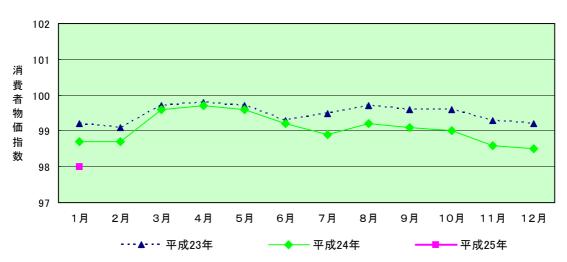
表2 10大費目別対前年同月上昇率及び寄与度

		総合	食料	住居	光 熱· 水 道	家具·家 事用品	被服及び履物	保健医療	交 通・ 通信	教 育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品 を除く 総 合	食料(酒類 を除く)及 びエネル ギーを除く 総合
対前年 同月 上昇率 (%)	14/1	▲ 0.9	▲ 2.2	▲ 0.2	0.8	▲ 2.5	▲ 0.5	▲ 1.3	0.5	0.6	▲ 2.4	▲ 0.8	▲ 0.7	▲ 0.7
	1月	▲ 0.9	▲ 2.7	▲ 0.2	0.9	▲ 5.8	1.3	▲ 0.7	0.7	0.6	▲ 2.3	▲ 0.2	▲ 0.7	▲ 0.8
寄与度	12月	▲ 0.9	▲ 0.55	▲ 0.03	0.06	▲ 0.07	▲ 0.02	▲ 0.06	0.06	0.03	▲ 0.25	▲ 0.05	▲ 0.72	▲ 0.49
	1月	▲ 0.9	▲ 0.70	▲ 0.03	0.07	▲ 0.17	0.05	▲ 0.03	0.09	0.03	▲ 0.23	▲ 0.01	▲ 0.68	▲ 0.52

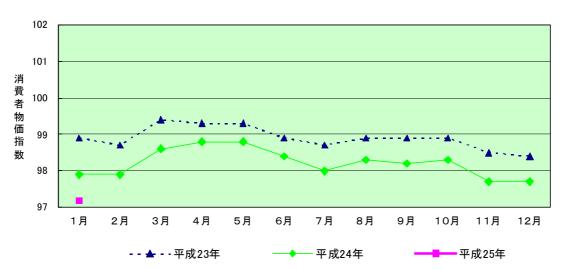
総合指数の推移

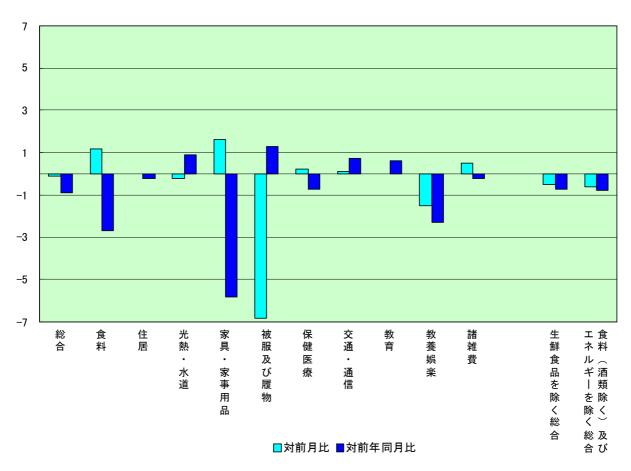


生鮮食品を除く総合指数の推移



食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の推移





生鮮品目の推移

